

# 金剛院 イベントNEWS

●企画・発行/金剛院  
●制作/クリプロ

## 開運吉祥「三面大黒天御開帳」

～仏さまとの良きご縁を祈願して、今年もたくさんの方々が新年のお参りに～



穏やかな晴天に恵まれ今年も良い年になりそうです。



新年が明けた1月1～3日、金剛院の秘仏「三面大黒天」が開帳されました。この仏さまは「福の神」として知られる大黒天(だいこくてん)の左右に毘沙門天(びしゃもんてん)と弁財天(べんざいてん)と三つの顔を持ち、それぞれの御威徳が合体した最強の守護神として有名で、あの豊臣秀吉も大切にされたそうです。新年はこの3日間だけの御開帳ということで多くの方がお参りに訪れました。

しめ縄や門松できれいに飾られた赤門は、いつもと違った華やいだ趣。本堂右手の玄関には鏡餅や注連飾り、切り画家・風祭(かざまつり)竜二先生の「赤富士」が飾られ、訪れた皆さんには昨年9月に開眼法要が済んだ十一面観音菩薩の御絵(みえ)を作った切り絵作家・中村清二郎先生お手製のウサギのペーパークラフトなども配られ、あちこちで新年の挨拶が賑やかに交わされていました。

境内では皆さんそれぞれが本尊のお参りやご先祖様のお墓参りをしながら、1年の息災と開運を祈るひとときを過ごされたようです。

普段のお寺は檀家さんでないと少し敷居が高いものですが、この日は「初詣」として訪れた方も多かったようです。金剛院では今年も節分の豆まきや花まつりなど、誰でも気軽に訪れられるイベントがたくさん開かれます。今後も楽しみです！



(上)松飾りや注連飾りでお化粧した赤門は普段と趣が変わります(下)弘法大師様の像や解説を熱心に読む人の姿も見られました。



(上右)玄関には切り画の赤富士が(左)アイドル犬・マッシューもお出迎え(左)ペーパークラフトのウサギさんも大好評！

【兎と仏教】「お腹を空かせた僧に自らの身体を捧げようとした兎の徳を残すため、月にその姿を記した」という仏教説話があるように「月に兎」は世界共通のようです。



仏様との良縁をお祈りする方が元旦からたくさん参拝に。十一面観音様も開帳されました。



「みとら」にも遊びに来てください！(田中さん・右)

★新年明けましておめでとうございます。三が日に開帳した「三面大黒天」は開運、厄除、財宝など、数え切れないほどの福德が頂ける、ありがたい仏様です。もともとインドの神様ですが、仏を守る守護神・神格として仏教に取り入れられました。金剛院には江戸時代から伝わっていて、年に数回だけ公開する秘仏。今回お参りできなかった方はぜひ次の機会にご参拝ください。今年もすばらしい年になりますように！(住職記)

